



加藤清正公・忠廣公と鶴岡市

令和7年4月
山形県鶴岡市



鶴岡市の紹介

- 位置 山形県西部日本海沿岸
- 面積 1,311.53km²（全国第10位・東北第1位）
- 人口 115,669人（令和7年3月31日現在）
- 特徴 日本初のユネスコ食文化創造都市
3つの日本遺産（出羽三山・サムライゆかりのシルク・北前船寄港地）
4つの国民保養温泉地（湯野浜・あつみ・湯田川・由良）
藩校「致道館」の教えと
最先端のバイオサイエンス拠点「鶴岡サイエンスパーク」

平成17年10月1日 6つの市町村が合併



今年は合併20周年



加藤清正公・忠廣公と鶴岡市①

○主な出来事

- 1632(寛永9) 年 熊本城主加藤清正公の嫡男忠廣公が庄内藩酒井家預かりの身として櫛引地域
“丸岡”に配流
- 1653(承応2) 年 忠廣公 没(享年53歳)
- 1913(大正2) 年 「加藤忠廣公遺蹟保存会」発会
(現：荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会)
- 1986(昭和61)年 寅年に合わせ顕彰会の48名が熊本訪問
以降おおよそ10年に一度加藤神社を訪問
- 1992(平成4) 年 べにばな国体時熊本県サッカーチームが丸岡に民泊し、過去最高の4位となる
- 2008(平成20)年 加藤神社崇敬会が丸岡に来訪
- 2011(平成23)年 加藤清正公生誕450年没後400年記念事業の一環として黒川能の公演
- 2013(平成25)年 荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会100周年記念講演・祝賀会開催
- 2015(平成27)年 熊本開催の「第1回加藤家三代ゆかりの地のつどい」に名古屋市等と共に参加
- 2016(平成28)年 熊本地震が発生、荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会が加藤神社へ見舞金を送付
- 2017(平成29)年 丸岡で「第2回加藤家三代ゆかりの地のつどい」を開催
- 2019(令和元)年 山形県沖地震が発生、熊本市がいち早く本市へ職員を派遣
- 2024(令和6) 年 鶴岡市防災講演会講師として大西熊本市長来鶴
- 2025(令和7) 年 鶴岡市布川教育長が教育文化面での交流を推進するため熊本訪問



丸岡城跡史跡公園(空撮)

加藤清正公・忠廣公と鶴岡市②

○櫛引地域丸岡地区について

清正公祭：命日である旧暦6月24日(新暦7月24日前後の日曜日)に天澤寺で開催

- ・清正公忠廣公尊霊供養などが営まれる
- ・前夜には、清正公忠廣公の御尊像が山車に乗って地区内を巡行するほか、丸岡城跡史跡公園で芸能奉納が行われる

丸岡桐箱踊り

- ・改易配流となった忠廣公母子を、村人が踊ってなぐさめたことが起源と伝えられている
- ・大切な書類や器物は桐箱に入れて保管していたが、この踊りもそのように大切なものということであつた名称と考えられている

丸岡城跡史跡公園

- ・かつて忠廣公が過ごしたこの地を、歴史をしのぶ史跡として、また、地域住民交流の場として活用するため市が整備し、2009(平成21)年竣工

丸岡城跡史跡公園



交流の継続と新たな展開

●若い世代の交流

壺川小



櫛引西小

- ・11学級、在籍児童数191名
- ・加藤清正公、忠廣公ゆかりの丸岡地区がある小学校
- ・平成元年から伝わる西小太鼓の継承や、身の回りの植物をテーマにしたカルタ大会などの行事に注力
- ・交流については、清正公とのつながりや地理的特色などを取り上げたオンライン交流を検討



西小太鼓の練習風景

京凌中



櫛引中

- ・8学級、在籍生徒数156名
- ・櫛引地域の特産品である庄内柿をテーマにした探求学習に取り組んでおり、1年生は収穫体験、2年生は庄内柿の魅力を伝える企画をグループでプレゼン発表
- ・交流については、オンラインによる合同音楽会や生徒会同士の交流を検討



庄内柿の収穫体験

●熊本博物館と本市図書館や致道博物館との交流



鶴岡市立図書館



致道博物館（鶴岡観光ナビHPより）

【交流（案）】

- ・市民への理解を深めるため、それぞれに関連した図書を相互展示
（歴史、食文化、スポーツなど、テーマごとに展示）
- ・学芸員交流 など